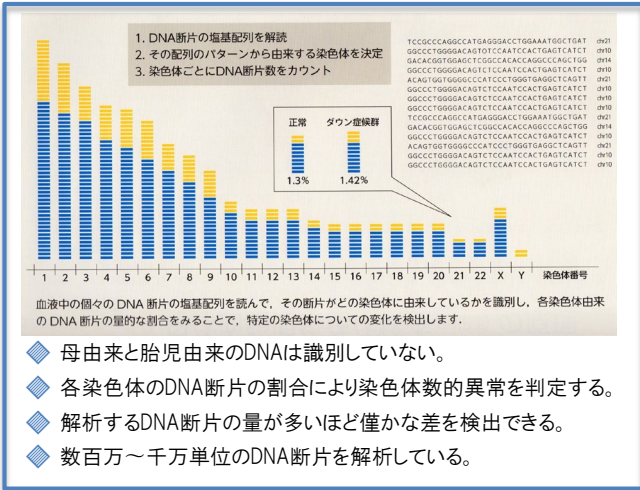




NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査)のご案内

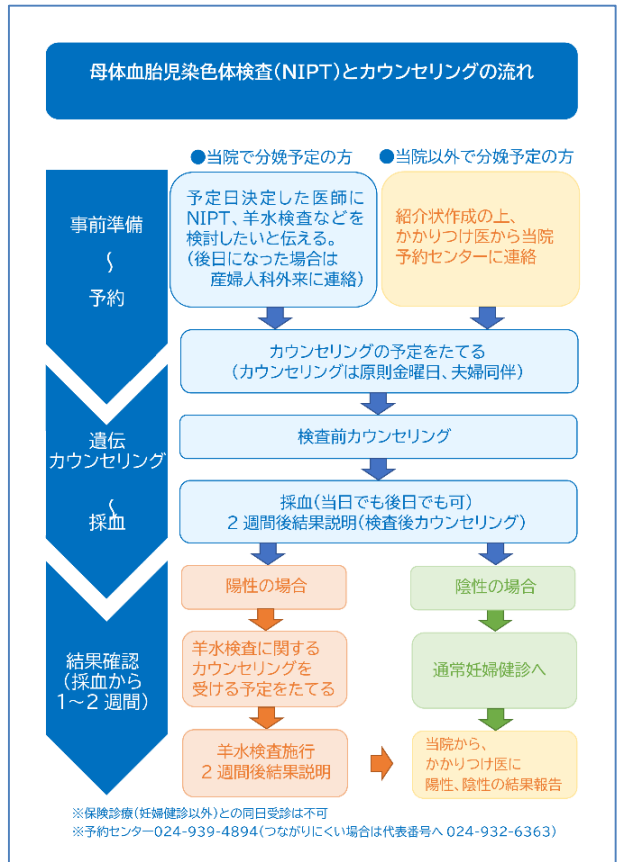
NIPTは出生前におなかの赤ちゃんが染色体疾患を持っているかどうかを検査する方法の一つです。母体の血液中を浮遊している胎児(胎盤)由来のDNA断片(セルフリーDNA)を分析することによって染色体の数の異常を検出します。



次世代シーケンサーによるMPS法という技術がこのことを可能にしました。

この検査によって、胎児が13・18・21トリソミーであるかどうか、母体からの採血で検査可能です。妊娠診断していただいた医療機関からの紹介のもと、当院で遺伝カウンセリング後に採血します。

- * 原則カップルで、採血の前と後に遺伝カウンセリングを受けていただく必要があります。
 - * カウンセリングは当院の臨床遺伝専門医が行います。
 - * 検査前の遺伝カウンセリングは、検査に関する適切な情報を十分に理解し、検査を受けるかどうかカップルで判断していただくことを主な目的に行います。
 - 過去の出産経験やこれまでの妊娠経過に関する問診や確認
 - 出生前診断の種類や方法
 - 検査によってどのような疾患がわかるのか
 - 検査の結果をどのように解釈するのか
 - * 検査後の遺伝カウンセリングは、
 - 検査結果の説明
 - 検査結果をどのように解釈するか、検査前のカウンセリングの再確認
 - 結果によって何が必要になるか
- 等についてお話しします。



臨床遺伝科 鈴木りか

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または
☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせ致します。